

ください。

また、本例会でのご発表を随時募集しております。ご希望の方は、演題・希望する月を明記の上

事務局（同前）までご連絡下さい。原則として発表者は会員に限ります。

## 例会記録

### 第59回日本医史学会神奈川地方会 秋季例会・ 日本医史学会 合同例会

令和4年9月17日（土）  
鶴見大学会館

#### I 依頼講演

「西郷隆盛と上野戦争における戦傷兵横浜輸送の算段」 岩下哲典（東洋大学文学部 教授）

#### II 特別講演

##### 1. 「緒方家と森鷗外」

石井元章（大阪芸術大学大学院 教授）

##### 2. 「緒方家に迎えられたエウジェニア＝ジョコンダ＝豊の生涯」

緒方洪貴（兵庫医科大学 麻酔科学・疼痛制御科学）

エクスカージョン：

「曹洞宗大本山總持寺 諸堂拝観」

### 日本医史学会 10月例会

令和4年10月22日（土）  
オンライン開催

#### 1. 「研医会図書館の蔵書紹介」

安部郁子（公益財団法人研医会）

#### 2. 「郡上医学の夢～美濃郡上藩の医師修業，同地方の江戸期医事」

森永正文（成医会 もりなが耳鼻咽喉科）

## 書 評

代表編者：小曾戸洋，共同編者：町泉寿郎

### 『杏雨書屋所蔵 医聖像集』

杏雨書屋は、日本に実在した医家の肖像集『杏雨書屋所蔵医家肖像集 初篇・二篇』2冊をこれまで刊行している。いずれも重厚な本だが、今回刊行された本書も、紫色のベルベットの装丁、271点（406ページ）の図版すべてをカラー収録、各作品の賛および印文もすべて翻刻解説された、実に豪華で充実した図像集である。

医聖とは、人々を病苦から救う、あるいは病苦から守ってくれると期待される、神格化された人

や動物という。本書の医聖中、最も多く描かれるのは、神農像である。絵画として単独で、あるいは三人（黄帝、伏羲らと共に）、二人、四人の中に、また彫像、印籠、刀の鏢にと様々な形で製作されている。

神農は、現代でも「神農祭」が行われるように、医薬の神として日本では漢方医や薬剤業者が祀り、古い医家には神農像のあるところも少なくなかった。本書にも二百点近い神農像が収録されて